(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 1 年 5 月 20 日

愛知県知事殿

提出者

住 所 愛知県西尾市寺津町四ノ割横道西10-1氏 名 株式会社 ヤマキ代表取締役 鈴木英昭電話番号 0563-59-7135

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	23:非鉄金属製造業
事	業場の所在地	西尾市寺津町四ノ割横道西10-1
計	画 期 間	平成31年4月1日~令和2年3月31日
当記	亥事業場において現に行	っている事業に関する事項
	①事業の種類	23:非鉄金属製造業
	②事 業 の 規 模	4719955 万円
	③従 業 員 数	110 人
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	全量中間処理業者に委託 (添付資料 参照)

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物	の処理に係る管	理体制	に関する	事項			
(管理	里体制図)						
添	系付資料 参照						
本光成态脉	aの批Uのfu生l)z	- 月日- ナ - フ ⁻	声 ·否				
生来	の排出の抑制に			0.0	左座) 安纬】		
			度(3 0	年度)実績】		
		産業	廃棄物の	種類	廃砂	電気炉スラグ	
		排	出	量	5053.93t	676.42 t	
1 ① 現:	状	(これまでに実施した取組)					
		排出時における、分別教育 産廃置き場の監視・指導					
			を直さ場の	り監視・1			
		【目標	· ·				
			ミ】 廃棄物の種	種類	廃砂	電気炉スラグ	
				種類	廃砂 4801.23t	電気炉スラグ 672.60t	
		産業	廃棄物の制出	量	4801. 23 t		
②計画	Ī	産業) 排 (今後	廃棄物の	量の予定の国	4801. 23 t		
②計画	Ī	産業) 排 (今後 特に	廃棄物の利出 出 (実施する	量の予定の耳	4801. 23 t		
②計画	Í	産業) 排 (今後 特に	廃棄物の利 出 を実施する ご予定は無	量の予定の耳	4801. 23 t		
②計画	Ī	産業) 排 (今後 特に	廃棄物の利 出 を実施する ご予定は無	量の予定の耳	4801. 23 t		
		産業/ 排 (今後 特に 分別	廃棄物の利 出 を実施する ご予定は無	量の予定の耳	4801. 23 t		
	1の分別に関する	産業) 排 (今後 特に 分別	廃棄物の利出 出 変実施する ご予定は無 可教育の徹	量の予定の影響し	4801.23t 反組)	672.60t	
産業廃棄物	1の分別に関する	産業) 排 (今後 特に 分別) 事項 (分別)	廃棄物の利出 出 実施する 予定は無 引教育の衛	量の予定の呼ばし	4801.23t 取組) 棄物の種類及び分別に関	672.60t 写する取組)	
	1の分別に関する	産業) 排 (今後 特に 分別) 事項 (分別)	廃棄物の利出 出 実施する 予定は無 引教育の衛	量の予定の呼ばし	4801.23t 反組)	672.60t 写する取組)	
産業廃棄物	1の分別に関する	産業) 排 (今後 特に 分別) 事項 (分別)	廃棄物の利出 出 実施する 予定は無 引教育の衛	量の予定の呼ばし	4801.23t 取組) 棄物の種類及び分別に関	672.60t 写する取組)	
産業廃棄物	の分別に関する	産業がは一個では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番	廃棄物の利用 と と また は また は また は また は で で は また で は して は して は して は して は して は は かん を かん	量の予定の見ました。	4801.23t 取組) 棄物の種類及び分別に 別未経験者に分別教育を 産業廃棄物の種類及び分	672.60 t 引する取組) ≥行う	

	【前年度(30	年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	廃砂	電気炉スラグ
① 現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	C
	(これまでに実施した取	文組)	
	無し		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃砂	電気炉スラグ
(2計画)	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	C
	(今後実施する予定の取	文組)	
	無し		
 ら行う産業廃棄物(の中間処理に関する事項		
	【前年度(30	年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	廃砂	電気炉スラグ
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	O t	C
① 現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	C
	(これまでに実施した取	文組)	
	無し		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃砂	電気炉スラグ
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	C
②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	C
	(今後実施する予定の取	文組)	
	無し		

	【前年度(30	年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	廃砂	電気炉スラグ
① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0
	(これまでに実施した耳	取組)	
	無し		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃砂	電気炉スラグ
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	C
	(今後実施する予定の国	取組)	
	無し		
 	委託に関する事項		
	【前年度(30	年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	廃砂	電気炉スラグ
	全処理委託量	5053.93t	676.42
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	С
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	5053.93t	676.42
 ① 現状	認定熱回収業者への 処理 委託 量	O t	С
	認定熱回収業者以外の	O t	O
	熱回収を行う業者への 処理委託量		
	熱回収を行う業者への		
	熱回収を行う業者への 処理委託量 (これまでに実施したE		

(第5面)

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃砂	電気炉スラグ
		全処理委託量	4801.23t	672.60t
		優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
		再生利用業者への 処理委託量	4801.23t	672.60t
	0.71=7	認定熱回収業者への 処理委託量	O t	0 t
	②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	O t	O t
		(今後実施する予定の)取組)	
		優良認定処理業者へ	への移行を考えている。	
※事	事務処理欄			

، میلی		~m / I. 45 b = == 2	÷+T		
産	業廃棄物の処理に係る管 「 <u>(255年</u> の処理に係る管	理体制に関する事	項		
	(管理体制図)				
	添付資料 参照				
産	業廃棄物の排出の抑制に 「	関する事項			
		【前年度(3 0	年度) 実績】	
		産業廃棄物の種	種類	ダスト	廃油
		排出	量	2732.84t	17.40 t
	① 現状	(これまでに実) 排出時におけ 産廃置き場の	る、分別	教育	
		【目標】			
		産業廃棄物の種	類	ダスト	廃油
		排 出	量	2596. 20 t	16.53 t
	②計画	(今後実施する 特に予定は無 分別教育の徹)	し	組)	
産	業廃棄物の分別に関する	事項			
	①現状			物の種類及び分別に関 未経験者に分別教育を	
	②計画	(今後分別する ³ 特別には、計		業廃棄物の種類及び気ない。	分別に関する取組)

	【前年度(30	年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	ダスト	廃油			
① 現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0			
	(これまでに実施した)	取組)				
	無し					
	【目標】					
	産業廃棄物の種類	ダスト	廃油			
②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0			
	(今後実施する予定の)	取組)				
	無し					
 	の中間処理に関する事項					
	【前年度(30	年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	ダスト	廃油			
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	O t	0			
	自ら中間処理により減量した	O t	0			
① 現状	産業廃棄物の量		0			
	(これまでに実施した取組)					
	無し					
	【目標】					
	産業廃棄物の種類	ダスト	廃油			
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	O t	0			
②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0			
	(今後実施する予定の]	取組)				
	無し					
İ						

自ら行う産業廃棄物の埋	世立処分又は海洋投入処分に	に関する事項	
	【前年度(30	年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	ダスト	廃油
① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した無し	取組)	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ダスト	廃油
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	O t
	(今後実施する予定の)取組)	
	無し		
産業廃棄物の処理の委託	に関する事項		
	【前年度(30	年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	ダスト	廃油
	全処理委託量	2732.84t	17.40 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2732.84t	17.40 t
① 現状	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	O t	0 t
	(これまでに実施した	取組)	
	ダストは、分別教育	でを行い、全量再生利用可	能とした。
	廃炉材は、全量埋め 方法を考慮中で)立て処分である為、再利 です.	川用の

(第5面)

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	ダスト	廃油
		全処理委託量	2596. 20t	16.53t
		優良認定処理業者への 処理委託量	O t	0 t
		再生利用業者への 処理委託量	2596. 20 t	16.53t
	0.11.7	認定熱回収業者への 処理委託量	O t	O t
	②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	O t	O t
		(今後実施する予定の)取組)	
		優良認定処理業者~	への移行を考えている。	
		廃炉材の再利用方法	ミの検討	
※事	孫処理欄			

(管理体制図)				
添付資料 参	照			
 業廃棄物の排出の抑	制に関する事	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
	【前年』	度(30	年度)実績】	
	産業廃	産棄物の種類	廃プラ(混廃)	木屑
	排	出 量	51.30 t	35.82
	産廃	置き場の監視・	拒 导	
	【目標】	I		
		 変乗物の種類	廃プラ(混廃)	木屑
			廃プラ(混廃) 48.74t	木屑 34.03
②計画	産業廃 排 (今後3 特に	産棄物の種類	48.74t	
②計画 業廃棄物の分別に関	産業廃 排 (今後等 特に ³ 分別す	産棄物の種類 出 量 実施する予定の 予定は無し	48.74t	
	産業廃 排 (今後等 特に ⁵ 分別する事項 (分別)	産棄物の種類 出 量 実施する予定の 予定は無し 教育の徹底	48.74t	34.03

	【前年度(30	年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラ(混廃)	木屑		
① 現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t		0	
9647	(これまでに実施したI	取組)			
	無し				
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃プラ(混廃)	木屑		
2計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t		0	
	(今後実施する予定の)	取組)			
	無し				
 ら行う産業廃棄物の	の中間処理に関する事項				
	【前年度(30	年度) 実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラ(混廃)	木屑		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t		0	
① 現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t		0	
	(これまでに実施した取組)				
	無し				
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃プラ(混廃)	木屑		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t		0	
②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t		0	
	(今後実施する予定の]	取組)			
i .					

	【前年度(30	年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	廃プラ (混廃)	木屑
① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	C
	(これまでに実施した) 無し	取組)	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラ(混廃)	木屑
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	(
	(今後実施する予定の)	取組)	
	無し		
- 	 委託に関する事項		
	【前年度(30	年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	廃プラ(混廃)	木屑
	全処理委託量	51. 30 t	35.82
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	(
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	51.30 t	35.82
① 現状	認定熱回収業者への 処理 委託 量	0 t	(
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	(
	(これまでに実施した)	取組)	
	分別教育を行い、全	量再生利用可能とした。	

(第5面)

	【目標】							
	産業廃棄物の種類	廃プラ(混廃)	木屑					
	全処理委託量	48.74t	34.03t					
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t					
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	48.74t	34.03t					
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t					
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	O t	0 t					
	(今後実施する予定の	(今後実施する予定の取組)						
	優良認定処理業者へ	優良認定処理業者への移行を考えている。						
※事務処理欄								

産業廃棄物計画集計表 (単位 : t)

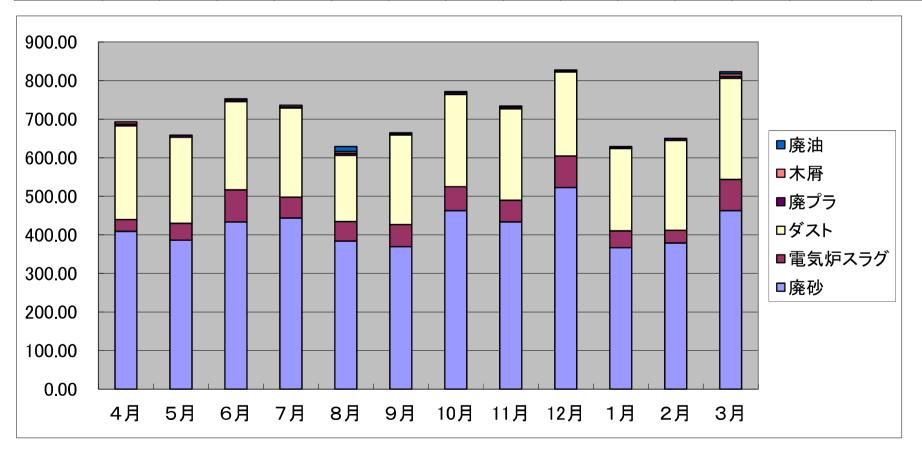
鉱さい 3品	

		_	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	-				
項目		廃砂	電気炉スラグ	ダスト	廃プラ	木屑	廃油	合計
産業廃棄物の排出の抑制に	30 年度実績	5053.93	676.42	2732.84	51.30	35.82	17.40	8567.71
関する事項	31 年度目標	4801.23	676.60	2596.20	48.74	34.03	16.53	8173.33
自ら行う産業廃棄物の	30 年度実績	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再生利用に関する事項	31 年度目標	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
自ら行う産業廃棄物の	30 年度実績	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
中間処理に関する事項	31 年度目標	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
自ら行う産業廃棄物の埋立	30 年度実績	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
又は海洋処分に関する事項	31 年度目標	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
産業廃棄物の処理の委託に	30 年度実績	5053.93	676.42	2732.84	51.30	35.82	17.40	8567.71
関する事項	31 年度目標	4801.23	676.60	2596.20	48.74	34.03	16.53	8173.33
	合計		8463.19					
	合計		8074.03					

産業廃棄物発生量 平成 30 年 4 月 ~ 平成 31 年 3 月

(単位:トン)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
廃砂	409.19	386.39	433.29	443.75	383.82	369.61	463.01	433.82	522.84	366.58	378.87	462.76	5053.93	鉱さい
電気炉スラグ	30.72	43.58	83.36	54.09	50.89	57.20	61.75	55.90	81.22	43.67	33.07	80.97	676.42	(3品)合計
ダスト	242.88	223.24	228.82	230.95	171.52	232.35	239.38	237.17	218.17	213.23	233.01	262.12	2732.84	8463.19
廃プラ	4.95	5.10	4.80	2.70	5.25	2.70	4.95	4.80	2.55	3.00	5.10	5.40	51.30	
木屑	5.00		2.40	4.62	5.15	2.75	2.40	2.49	2.70	2.31		6.00	35.82	
廃油					12.00							5.40	17.40	
合計	692.74	658.31	752.67	736.11	628.63	664.61	771.49	734.18	827.48	628.79	650.05	822.65	8567.71	



産業廃棄物の一連の処理工程

廃砂	焼成後、再成砂として利用、一部ダストとして利用
電気炉スラグ	道路の路盤材として利用
ダスト	セメントの骨材として利用
廃プラ(混廃)	分別後、プラスチック・ガラス・砥石などの材料として利用
木屑	破砕後、紙パルプの材料として利用
廃油	脱水・精製後、燃料として利用

製造工程フローシート

事第	镁場名	株式会社 ヤマキ 主な製品 銑鉄鋳物部品鋳造 (農業機械部品、ポンプ部品、自動車部品)									
	製	原(燃)材料──▶	装入 ──	 溶解 — 	→ 注湯 → ·	自動造型 ライン	型ばらし →	- 場折 - →	- 砂落し - →	仕上げ 一	· 検査 ── ★
	造工程		自動造型(中子入 れ、枠合せ)			; 砂 ◆──		; 		出荷	加工 ◀ (一部)
製造工	原材料名・機械の名称	 新鉄 なカラップ 戻り 加炭剤 マンガン シリコン 	• 昇降機 • 自動造型機 4基 KDM H4T FCMX	- - - - - 2t 1基 - 5t 2基 - 3t 3基 - 保持炉 - 15t 1基	 - ・ 台車 ・ 手押車 ・ ホイスト 	•自動造型機 4基 KDM H4T FCMX		 • 手ハンマー • グラインダ ー 	 ・ショットブラスト 6 台 	 ・グラインダー 3台 ・バリンダー 3台 ・塗装槽 ・塗料 ・トローリー コンベアー	 - -NC旋盤機 -マシニング - センター -フライス機
程	作業の手順		・計量昇降機で 投入する ・自動造型機に て鋳型をつくる	·電気炉にて 溶解する 	- * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	·ホイストで鋳型 に注湯する 	- · - ·	-・製品に付着の 堰砂を手ハン マーで打ち 落す - - -	-・ショットブラスト - で付着砂を - 除去する - - - - - - - - -	-・グラインダー にグラインダー にバリンが削 ・トローリーコン ・トローリーで	 - - - 加工機にて 製品を加工 - する -
3	廃棄物発生箇所	(保全課) ・ゴ級屑 ・木 産技術課) ・ゴ級屑 ・ボスティー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー		・鉱さい(スラ ・ダスト・ ・廃炉材) 	ラグ 	- * ・	・鉱さい(廃砂 ・金属 ・金属 スクラップ 鉄 	・鉱さい(廃砂 ・金属 -・金属 	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・鉱さい(廃砂 ・ 集塵 ・ ・ み 	 •金属屑

赤字は、産業廃棄物で無く、有償で処分。

3 産業廃棄物の処理に係る基本方針及び管理体制

添付資料

産業廃棄物の排出抑制及び適正処理に係る基本方針

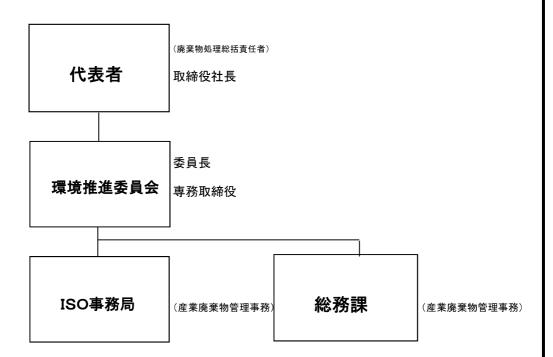
法令を遵守し適正に委託処理するとともに、マニフェストの適正管理を徹底します。

現場における廃棄物の分別を徹底します。

廃棄物保管場所を適正に管理します。

廃棄物の排出抑制及び適正処理について、従業員間のコミュニケーションの充実を図り、周知徹底します。

産業廃棄物処理に関する管理組織図



(産業廃棄物処理責任者) 専務取締役

(特別管理産業廃棄物管理責任者) 専務取締役

(産業廃棄物処理施設技術管理者) 製造部長

(マニフェスト管理者) 総務課 課長

(産業廃棄物管理者) ISO事務局

(スローガン)

環境に優しい企業活動を実践しよう

(基本理念)

株式会社ヤマキは、原理・原則・原点主義のもと 『新しい価値を創造し続ける企業を目指して、社会に貢献します。』 という企業理念を貫き、企業活動を通じて環境保全に努め、 地域社会との共生を図ります。

(環境方針)

- 1. 環境保全と事業活動の両立を基本として、環境負荷の軽減を積極的に推進し、地域社会に貢献します。
- 2. 省エネルギー・省資源活動並びに廃棄物の削減とリサイクル化を展開し、 環境マネジメントシステムの継続的な改善と汚染の予防に努めます。
- 3. 環境関連法規制及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。
- 4. 環境目的・目標を設定し、その実現を図ると共に定期的に見直します。
- 5. 本方針は文書化し、当社及び当社のために働く人に周知徹底すると共に一般に公開します。

制定:2004/04/10

改定:2006/06/01

株式会社 ヤマキ

代表取締役社長 鈴木 英昭